

トップコミットメント

おかげさまで100周年。
私たちの原点は
知恵と技術です。



株式会社 栗本鐵工所 代表取締役社長

福井秀明

新たに始まる100年に挑戦

平素は当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、平成21年2月に創立100周年を迎えました。明治42年の創業から100年、当社が永年に亘って社会に受け入れられ、社会のインフラ整備やライフラインの拡充など、さまざまな形で社会に貢献することができましたのも、ご関係の皆様のご支援、ご厚情の賜物であり、改めて深く御礼申し上げます。我々は、これまでの100年に感謝し、これからの100年にチャレンジしていかなければなりません。

事業の「選択」と「集中」で 経営資源を有効活用

現在当社グループは、創立100周年に際し、平成21年度を『第2の創業』年度と位置づけ、社会的信頼の回復ならびに業績改善に向けて、さらなる「選択と集中」を促進し、既存の枠組みによる事業運営を転換すべく、グループ全体で事業再編に取り組んでおります。これらの再編により、マネジメント単位が集約されることで、コーポレートガバナンスの強化、品質管理体制の強化、業務運営体制の効率化、意思決定の迅速化がはかられます。当社といたしましては、次の100年に向け、より一層価値のある企業であり続けるために、現在取り組んでいる変革を完遂させ、盤石な新体制を構築し、環境変化に対応しつつ、本格的な業績の回復ならびに持続的成長を実現させてまいります。

安定した経営体質へ 守りと攻めの経営を同時展開

現在のわが国経済は、世界的な金融危機や欧米景気の悪化などを背景として、深刻な局面に入ってお

ります。当社グループといたしましては、平成20年度で『第2の創業』の企画、計画段階を終え、実際の行動により着実な成果を創出するにあたり、今後3カ年の経営の基本方針として「守り」と「攻め」の経営を同時に展開することといたしました。恒常的に利益を生み出すことができる安定した経営体質への転換を早急にはかるため、グループを挙げて、聖域を設けず、改めて業務改革・総コストの削減などに取り組み、不採算事業からの撤退を含む事業再編を着実に推し進め、競争力を増すためのさまざまな活動を断行いたします。但し、一方的に投資の抑制をするのではなく、きたるべき市況の回復時に備え、人材育成や将来性のある新製品や新事業、研究開発への投資は継続し、損益の揺れ幅の少ない事業、採算の取れる事業に資源を集中させてまいります。

地球環境への配慮と 継続的な環境保全活動の推進

「私たちは全ての事業活動において、水と大気と生命（いのち）の惑星、地球の環境にこだわったモノづくりに励みます」の栗本環境基本方針に基づき、環境経営を積極的に推進し、環境保全活動の継続的改善をはかります。クリモトグループの地球環境保全活動に取り組むために環境委員会を機能的に運営し、環境マネジメントシステムの効果的な運用をはかります。また、環境基本法、環境関連規則、関連行政機関や各種団体・企業との協定および自主行動計画を順守し、環境汚染防止、環境リスクの排除に努めます。生産活動においても、省エネルギー、省資源活動を推進するとともに、廃棄物の削減と有効利用およびリサイクルにより環境負荷低減の推進に取り組みます。全製品の原材料調達、生産、流通、使用、廃棄の各段階で環境に対する負荷を最小限にするように配慮いたします。そして環境保全が可能な機器設備の開発、普及および導入を積極的に推進いたします。

全従業員に環境教育、社内外広報活動を実施し、環境への理解と環境問題への意識向上をはかります。より良い地球環境の実現をめざし、市民として社会貢献活動への参画、支援に積極的に取り組み、ステークホルダーと環境コミュニケーションをはかります。

【環境重点取り組み事項】

- 地球温暖化、資源枯渇、地球全体の環境汚染の中での環境負荷低減
- 事業場、本社、支社店でのゼロエミッション活動
- 環境負荷低減や環境保全に役立つ製品・技術を開発および提供・導入
- 全従業員の環境問題への意識向上と社会貢献活動への参加推進
- クリモトグループ全体として環境経営の推進
- 社会的信頼性の向上

クリモトグループは 新しい価値に取り組みつづけます

クリモトは、水からはじまり、人と自然が調和できる社会をめざして、快適で豊かな暮らしの基盤づくりに貢献する事業を展開してまいりました。それらの事業は、安全で美しい国土づくりや産業の発展、環境との共生など多岐にわたります。クリモトグループは、これまでに培ってきた知識や技術、経験の研鑽はもとより、さまざまな分野での実績を活かしながら、モノづくりで未来を創造いたします。そして、これからも信頼される企業として、新しい価値に取り組みつづけます。これからもクリモトの活動に、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。